

次期参院選  
公認予定者  
(非議員)

<p><b>党員・サポーター</b> (22万6148人)</p> <p>● 354票</p> <p>都道府県別に ドント方式で 配分</p>	<p><b>地方議員</b> (1629人)</p> <p>● 141票</p> <p>得票数に基 づきドント 方式で配分</p>	<p><b>国会議員</b> (132人)</p> <p>● 264票</p> <p>議員1人 に2票</p>	<p>(1人)</p> <p>○ 1票</p> <p>予定者 1人に1票</p>
---	---	---	--

7日の告示後に郵送

投票

18日の  
臨時党大会

1位が過半数

1位が過半数未滿

新代表選出

上位2候補で、国会議員と  
公認予定者による決選投票

# 岡田氏 一歩リード

## 民主代表選 終盤情勢

## 細野氏と決選投票へ

民主党代表選（18日投票）の終盤情勢を産経新聞が調べたところ、岡田克也代表代行が一歩リードしていることが13日、分かった。国会議員票は細野豪志元幹事長が45人前後で岡田氏をやや上回り、長妻昭元厚生労働相が30人超で追いかける。最大の票田となる党員・サポーターの動向次第で情勢は変わる可能性もあるが、細野、岡田両氏の決選投票となる公算が大きく、その場合は保守系、労働組合系双方に支持を広げる岡田氏が有利な情勢だ。

115面に「若者から鋭い注文」

代表選（総数760票）

は党員・サポーター（354票）が国会議員と次期参院選公認予定者（計265票）を上回り、地方議員（141票）とあわせ約3分の2を占める。18日は地方議員と党員・サポーター票の開票後に国会議員の投票が行われる。

票が行われる。

各陣営は、郵便で締め切りが16日必着の党員票などの上積み追い込みをかけるが、党員らの動向で飛び抜けた候補はいない情勢。過半数を得る候補がなく、上位2人に対する国会議員票による決選投票を見込んで

だ動きも活発化している。

岡田陣営は野田佳彦前首相ら保守系議員のほか、辻元清美元国土交通副大臣らリベラル系の議員も多く、細野氏との決選投票になった場合の支持獲得に自信をのぞかせる。

岡田氏は13日の若者との対話集会で「政治家としてこれだけとは思っているのは、長妻氏が言われる格差拡大の問題だ」と述べるなど、代表選終盤に入り長妻陣営の取り込みを意識し、秋波を送った。

細野陣営は長島昭久元防衛副大臣ら中堅・若手の保

守系議員が多く、国会議員票で岡田氏をわずかながら上回る勢いだ。ただ、岡田氏との決選投票になった場合、長妻氏支持の労組系議員からの支持獲得は困難とみられ、陣営幹部は「地方と党員・サポーター票で引き離し、1回目でも過半数を狙う」との戦略を描く。

国会議員票で離されている長妻陣営の幹部は「3位になったときにどちらにつくか、まとまって行動しないと足元をみられる。要求するものは要求する」と早くもポストをめぐる攻防が水面下で始まっている。